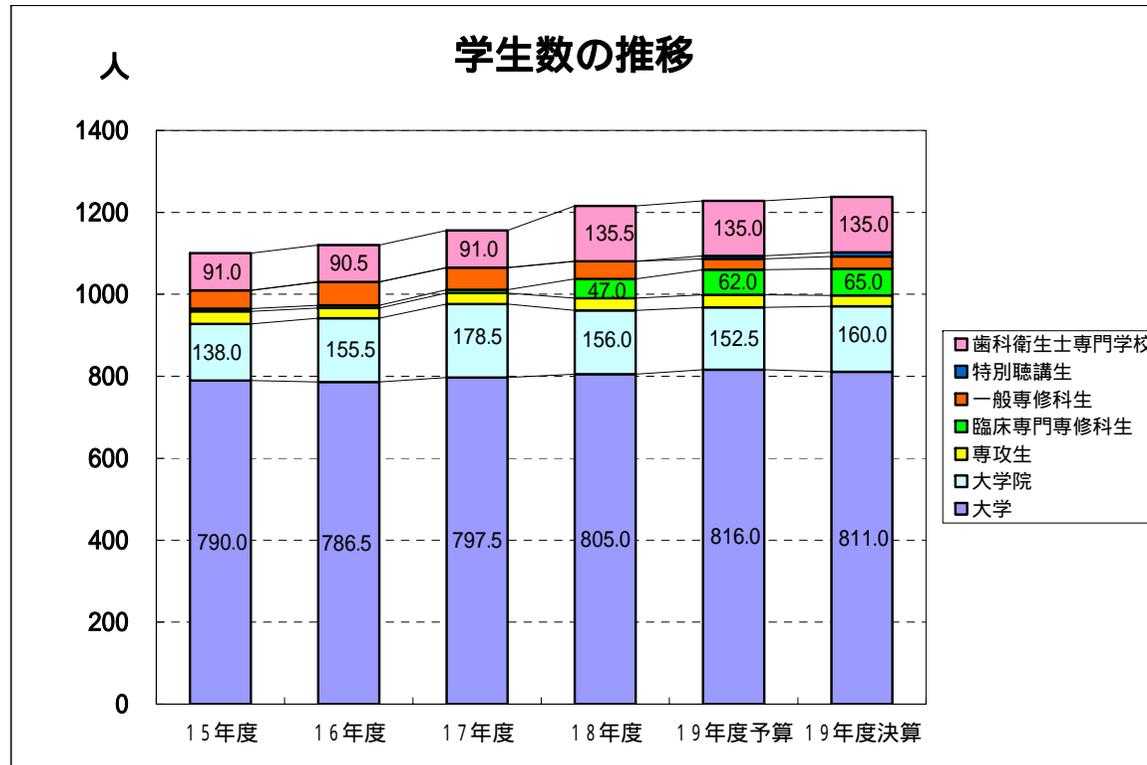


平成19年度事業報告書

1. 法人の概要

学生数の推移



	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度予算	19年度決算
大学	790.0	786.5	797.5	805.0	816.0	811.0
大学院	138.0	155.5	178.5	156.0	152.5	160.0
専攻生	30.5	25.0	27.0	29.5	30.0	26.5
臨床専門専修科生	7.0	6.0	8.0	47.0	62.0	65.0
一般専修科生	44.0	57.0	54.0	43.0	26.0	30.0
特別聴講生					7.0	10.0
歯科衛生士専門学校	91.0	90.5	91.0	135.5	135.0	135.0

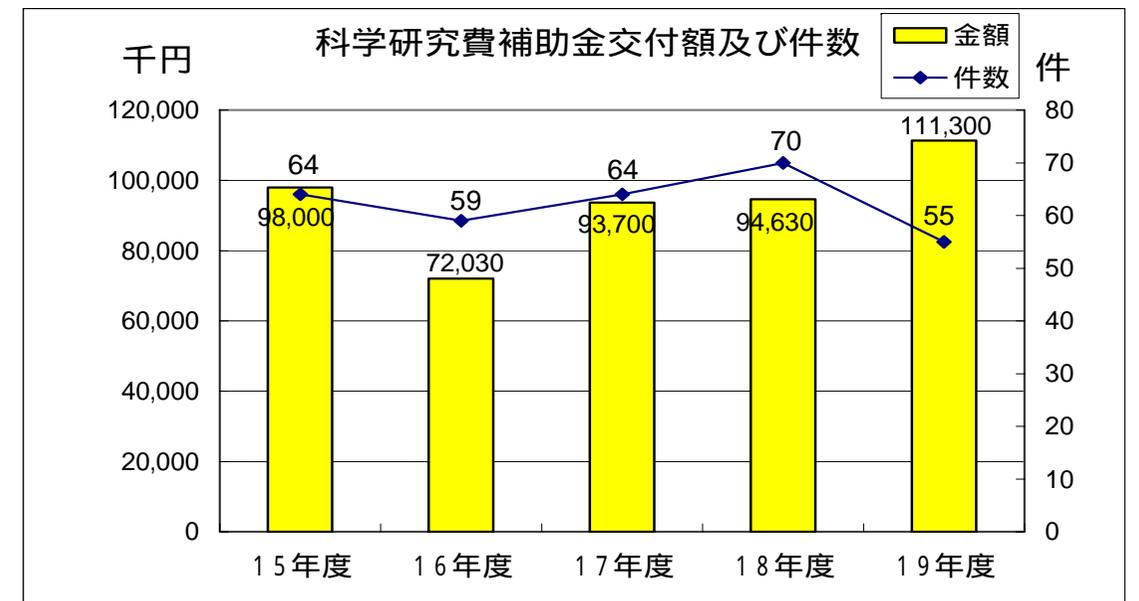
学部・大学院・歯科衛生士専門学校の入学定員

学部		140名
大学院	歯学研究科 歯科基礎系	10名
	歯科臨床系	24名
歯科衛生士専門学校		40名

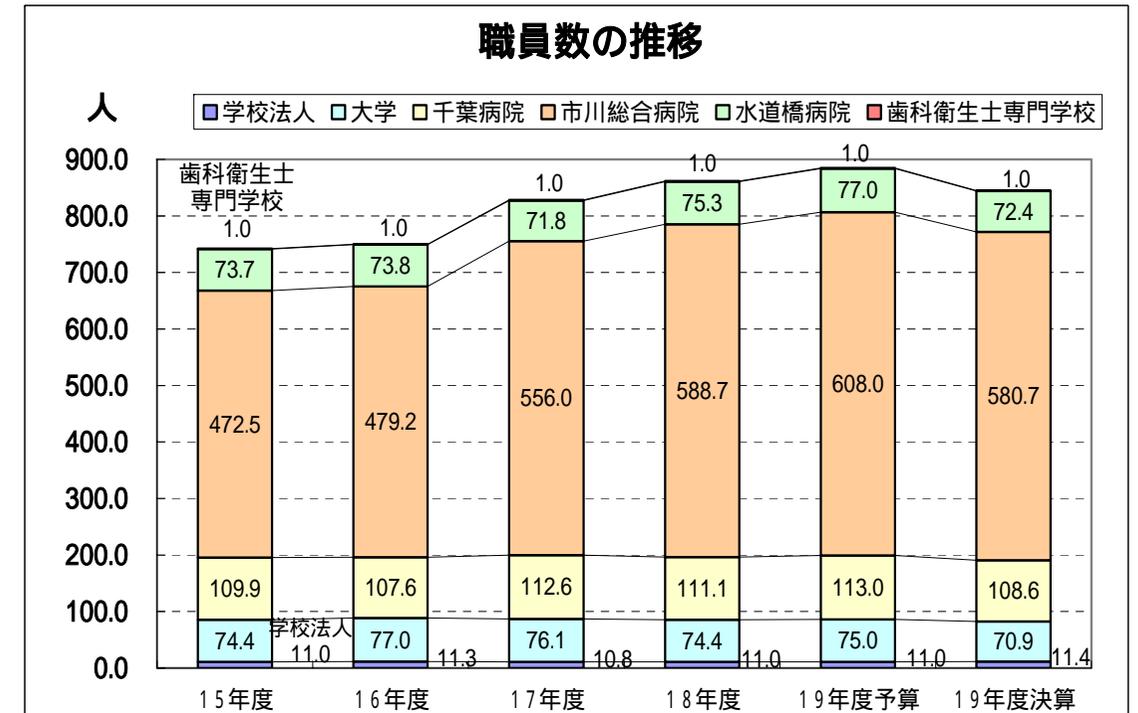
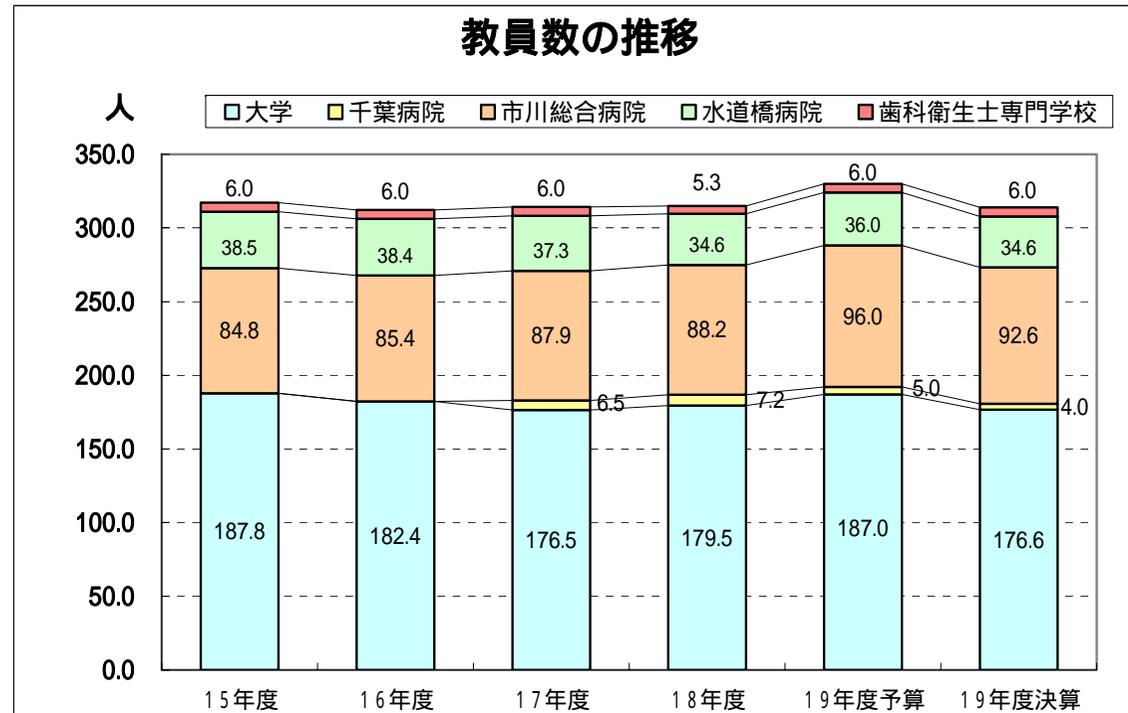
留学生の状況

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
(大学)	0	0	0	1	1
(大学院)	1	2	3	2	2
(専攻生)	0	0	0	0	0
(専修科生)	1	0	0	0	0
合計	2	2	3	3	3

科学研究費補助金交付額及び件数



教職員数



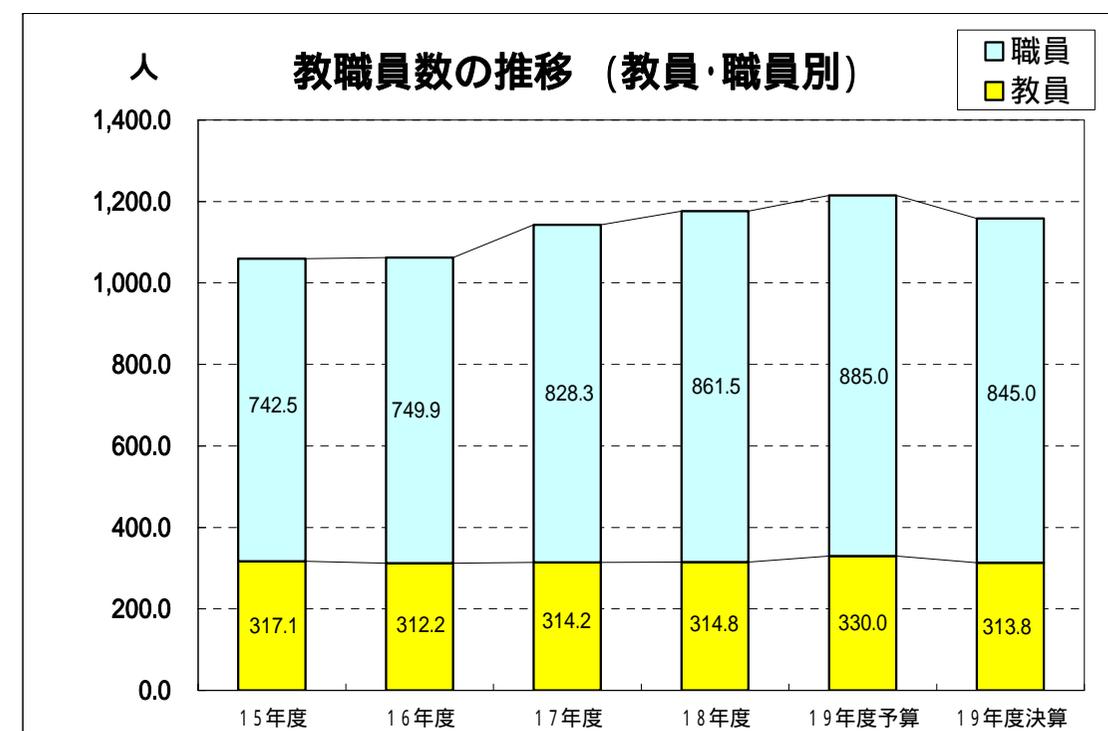
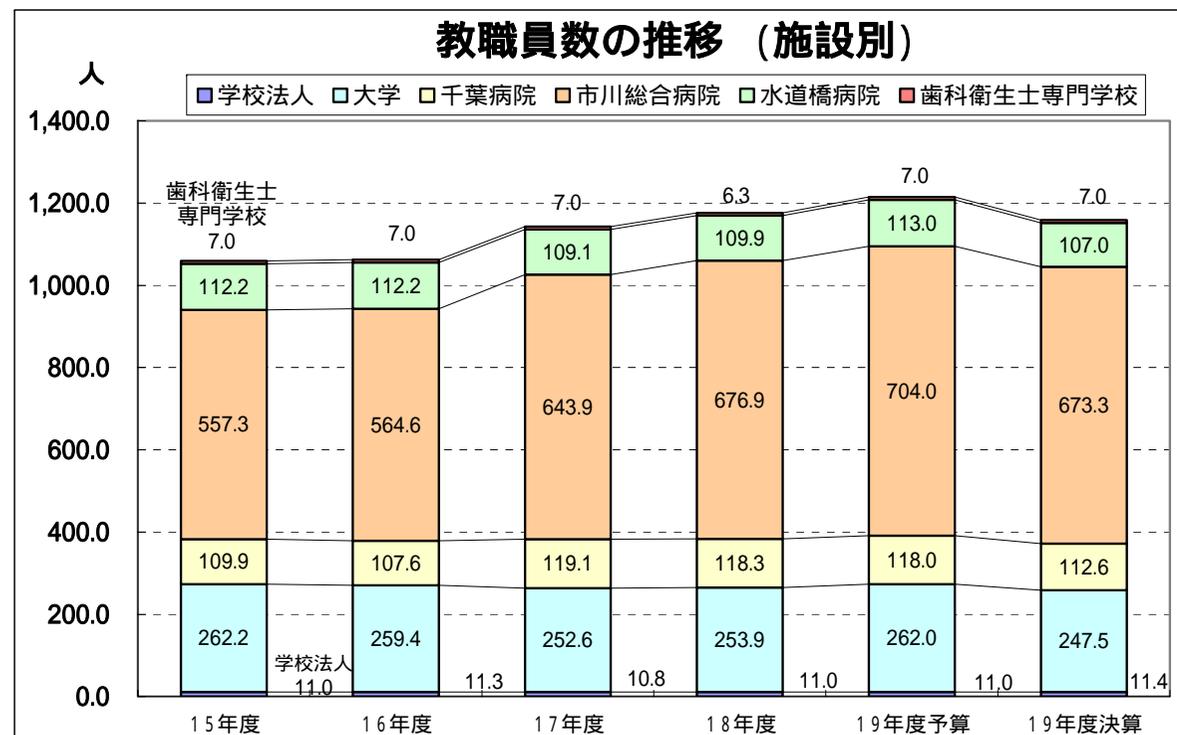
千葉病院教員は、病院の教員人件費対象者を除き大学に含む。

(人)

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度予算	19年度決算
大学	187.8	182.4	176.5	179.5	187.0	176.6
千葉病院	0.0	0.0	6.5	7.2	5.0	4.0
市川総合病院	84.8	85.4	87.9	88.2	96.0	92.6
水道橋病院	38.5	38.4	37.3	34.6	36.0	34.6
歯科衛生士専門学校	6.0	6.0	6.0	5.3	6.0	6.0
計	317.1	312.2	314.2	314.8	330.0	313.8

(人)

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度予算	19年度決算
学校法人	11.0	11.3	10.8	11.0	11.0	11.4
大学	74.4	77.0	76.1	74.4	75.0	70.9
千葉病院	109.9	107.6	112.6	111.1	113.0	108.6
市川総合病院	472.5	479.2	556.0	588.7	608.0	580.7
水道橋病院	73.7	73.8	71.8	75.3	77.0	72.4
歯科衛生士専門学校	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
計	742.5	749.9	828.3	861.5	885.0	845.0



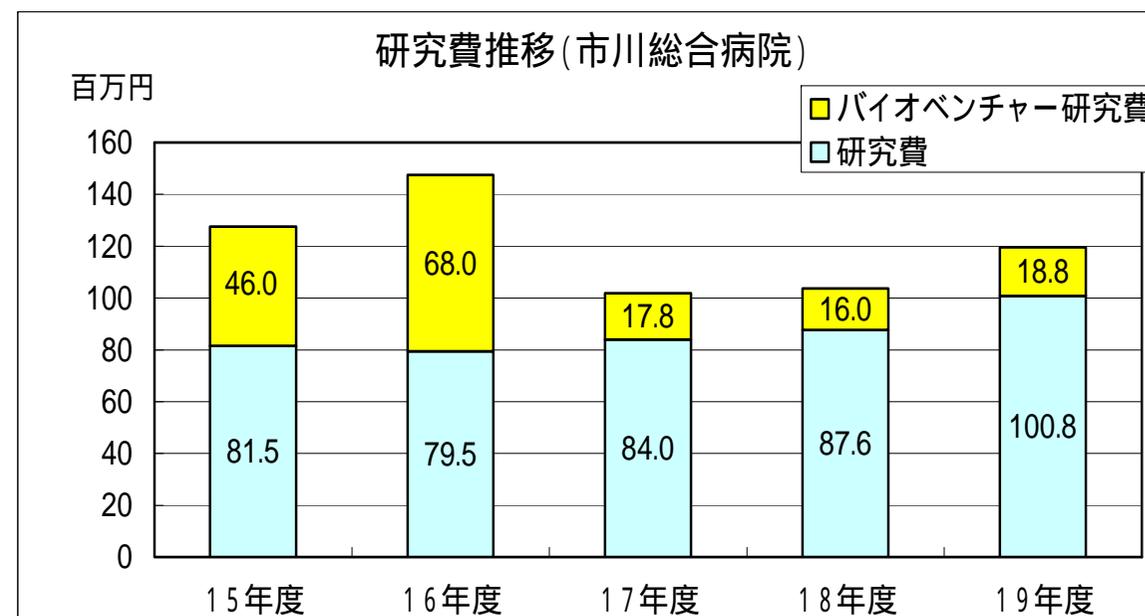
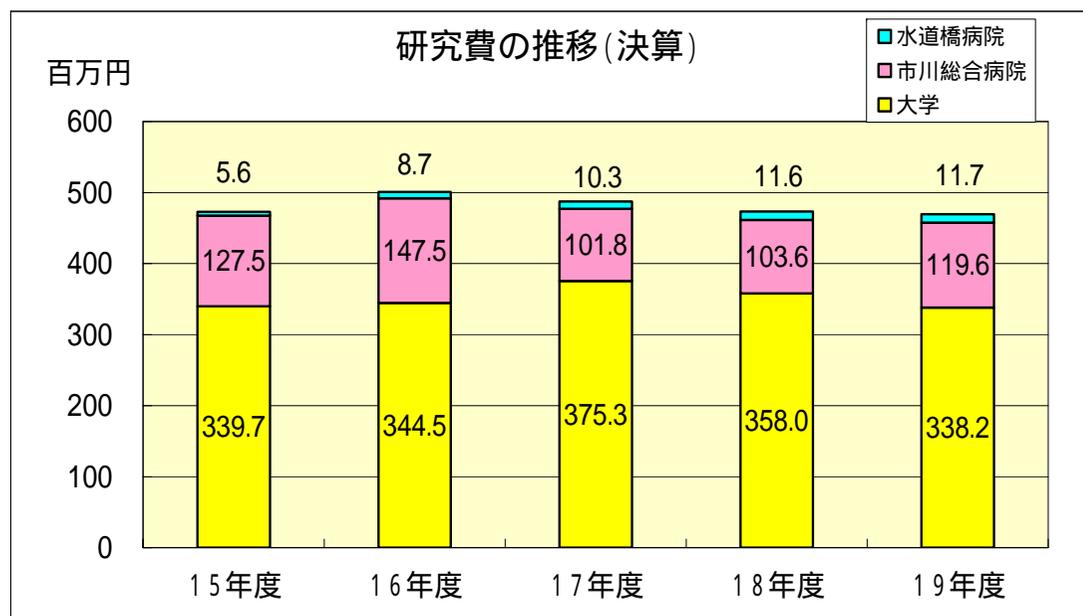
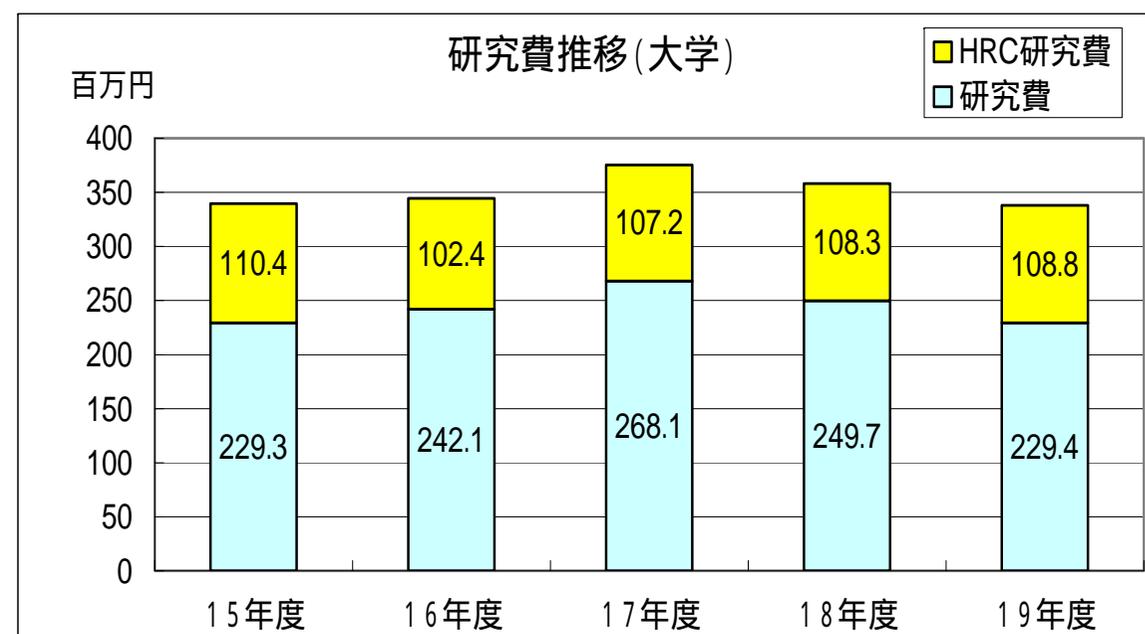
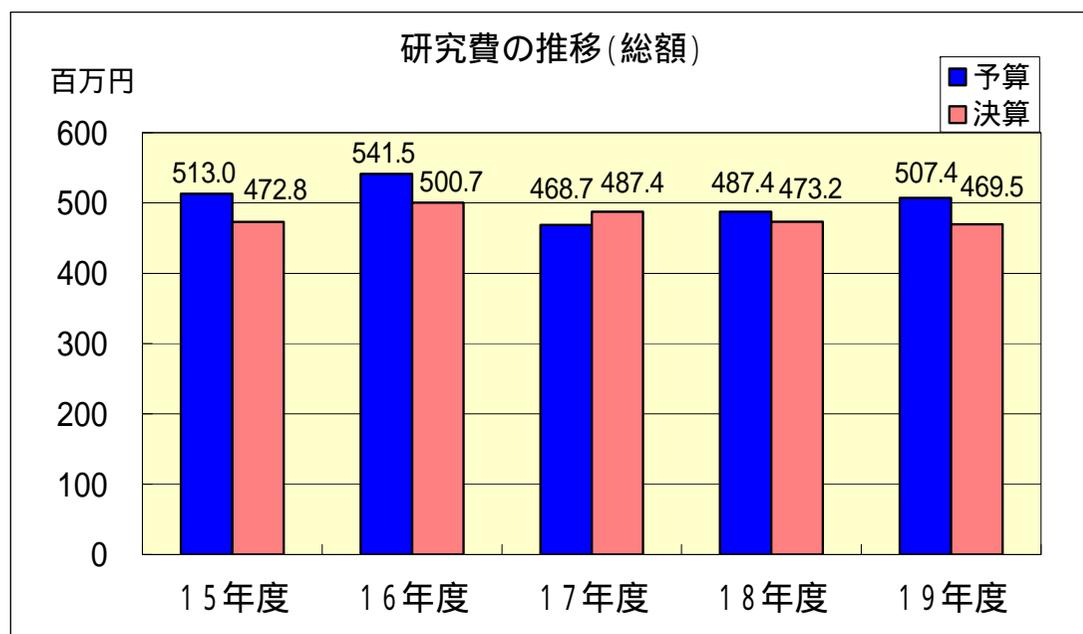
千葉病院教員は、病院の教員人件費対象者を除き大学に含む。

(人)

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度予算	19年度決算
学校法人	11.0	11.3	10.8	11.0	11.0	11.4
大学	262.2	259.4	252.6	253.9	262.0	247.5
千葉病院	109.9	107.6	119.1	118.3	118.0	112.6
市川総合病院	557.3	564.6	643.9	676.9	704.0	673.3
水道橋病院	112.2	112.2	109.1	109.9	113.0	107.0
歯科衛生士専門学校	7.0	7.0	7.0	6.3	7.0	7.0
教職員計	1,059.6	1,062.1	1,142.5	1,176.3	1,215.0	1,158.8

2. 事業の概要

研究費の推移

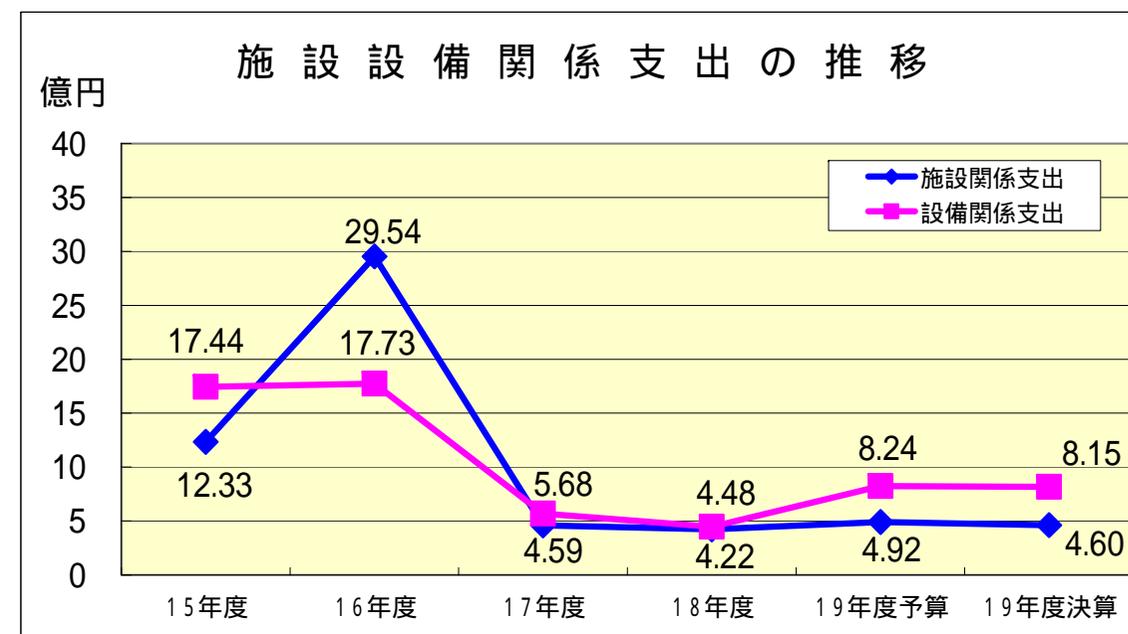


19年度の主要な施設・設備関係等支出

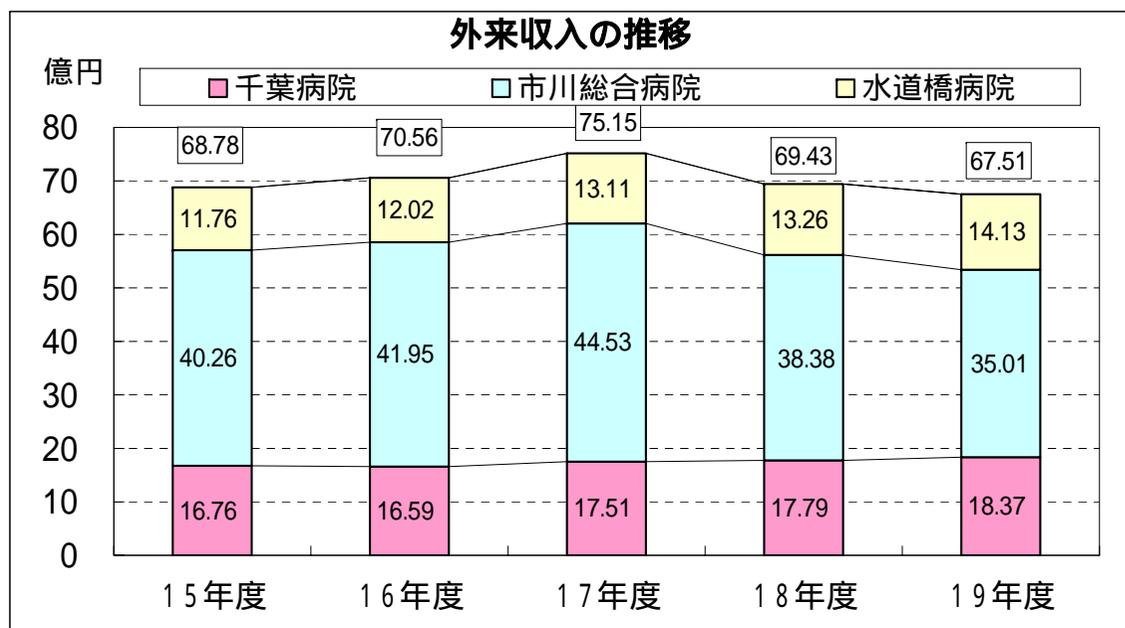
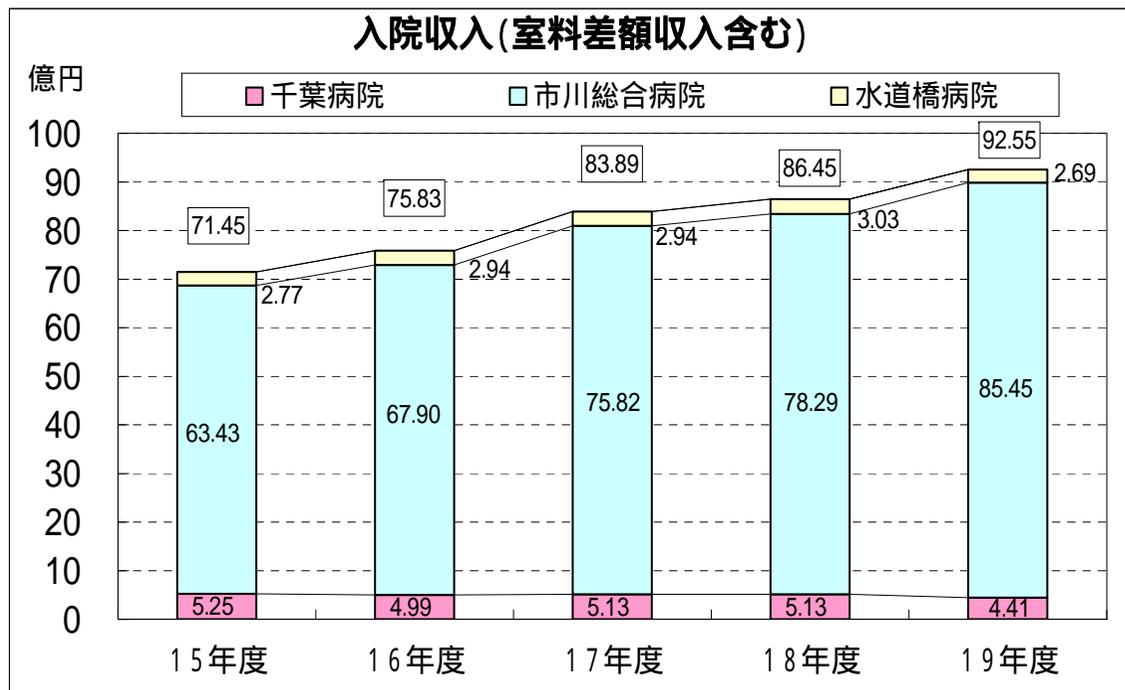
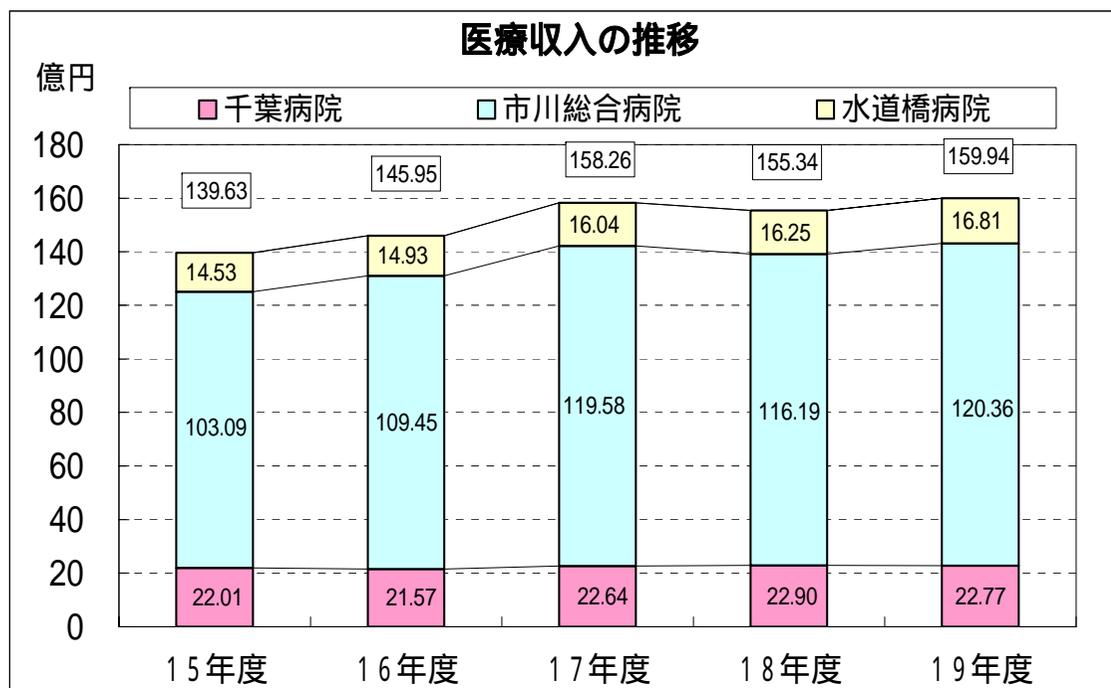
施設別内訳

(学校法人)	(単位:万円)		
	予算	決算	差額
施設関係支出	27,860	33,565	5,705
土地支出	27,860	27,857	3
三崎町二丁目駐車場隣接地	27,860	27,857	3
建設仮勘定支出	0	5,708	5,708
三崎町二丁目土地取得	0	5,708	5,708
設備関係支出	832	1,089	257
その他の機器備品支出	832	1,089	257
(大学・千葉病院)			
施設関係支出	16,387	8,125	8,262
建物支出	16,387	7,914	8,473
各棟防水工事	13,520	6,859	6,661
空調設備整備工事他	2,867	1,055	1,812
構築物支出	0	211	211
屋外ソーラー式両面時計工事	0	211	211
設備関係支出	31,696	28,497	3,199
教育研究用機器備品支出	28,396	24,370	4,026
その他の機器備品支出	500	1,329	829
図書支出	2,800	2,798	2
(市川総合病院)			
施設関係支出	4,616	4,284	332
建物支出	4,616	4,284	332
手術室空調単独熱源新設工事	3,798	3,399	399
放射線科MRI室電源増設工事	473	560	87
放射線科血管造影室電源増設工事	345	325	20
設備関係支出	43,458	43,804	346
教育研究用機器備品支出	42,458	42,658	200
その他の機器備品支出	200	274	74
図書支出	800	872	72
(水道橋病院)			
施設関係支出	310	53	257
建物支出	310	53	257
矯正歯科診療室改装工事	310	53	257
設備関係支出	6,410	8,136	1,726
教育研究用機器備品支出	5,910	8,093	2,183
その他の機器備品支出	450	0	450
図書支出	50	43	7

(総額)	(単位:万円)		
	予算	決算	差額
施設関係支出	49,173	46,027	3,146
設備関係支出	82,396	81,526	870



附属病院医療収入推移グラフ (歯科衛生士専門学校を除く)



3. 財務の概要

消費収支計算書

平成19年度の消費収入の部では、学生生徒等納付金は学部の学生数が(予816人決811人)と予算を下回り、1,700万円の減となった。手数料は500万円の減となった。また医療収入については、市川総合病院では入院収入の増により1億300万円の増となる一方、千葉病院と水道橋病院の入院収入の減により、4,600万円の減となった。それ以外の科目では予算より増となった。

寄付金では、特別・現物・一般寄付金が増となり、寄付金全体で予算より増となった。補助金は歯科臨床研修費で1,000万円の減などがあったものの、私立大学等経常費補助金が2,600万円の増となり予算より1,000万円の増となった。資産運用収入では金利の上昇により、受取利息・配当金が1,900万円の増となるなど、3,200万円の増となった。事業収入等も予算より7,600万円増となった。雑収入も退職金財団交付金が増となった。よって**帰属収入合計**は、232億3,200万円となり、予算より2億1,500万円増となった。**基本金組入額合計**は4億8,100万円となり、予算を1億3,900万円下回った。

その結果、帰属収入から基本金組入額合計を差し引いた**消費収入の部合計**は、227億5,100万円を計上した。

一方、消費支出の部では、人件費が大学の教員人件費で大幅減となり、対予算では1億2,400万円の減であった。教育研究経費は、<教育研究経費>は多くの科目で予算内の執行となったため、総額では予算より2億5,500万円減となった。<医療経費>は千葉病院と水道橋病院で増となったが市川総合病院で減となり、1億9,500万円予算を下回った。また、管理経費は科目ごとの増減はあるものの、トータルでは1億600万円減となった。一方、資産処分差額では市川総合病院での教育研究用機器備品の所有権移転に伴う除却により8,900万円の増となった。

以上により、**消費支出の部合計**は、223億6,600万円となり、予算より7億9,500万円の減となった。

その結果、短期的な経営指針である**帰属収支差額(帰属収入 - 消費支出)**でみると8億6,600万円の黒字計上となり、予算を10億1,000万円上回った。帰属収入に対する**予備費を除いた消費支出比率**は96.3%となり、予算の99.7%を下回った。

長期的運営指針である消費収入 - 消費支出では、3億8,500万円の**収入超過**となった。

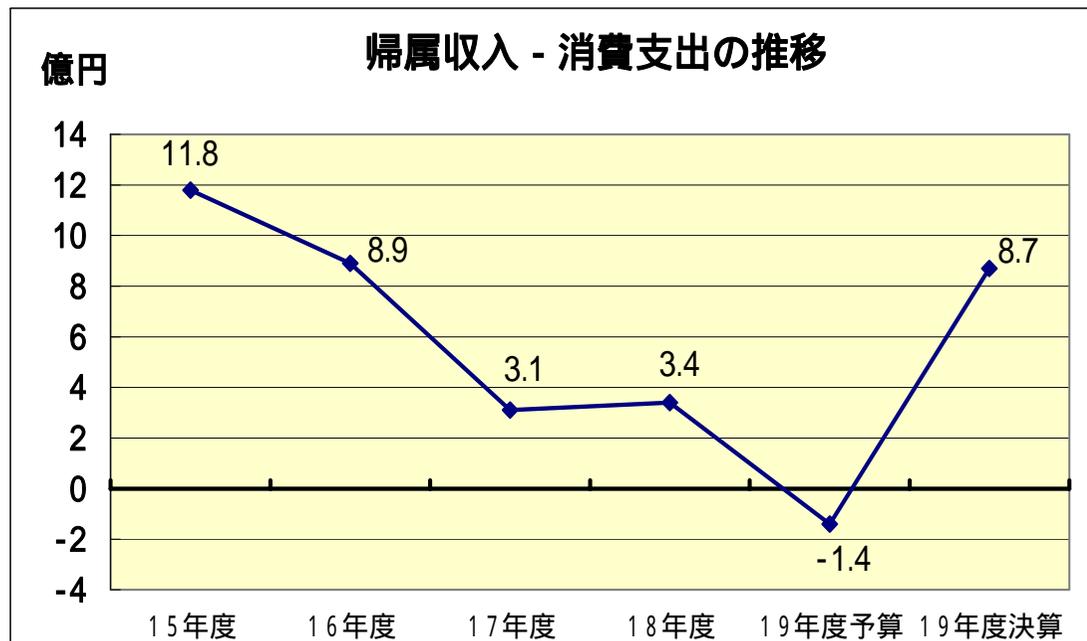
また、全体での**基本金取崩額**は、900万円となった。

平成19年度 消費収支計算書

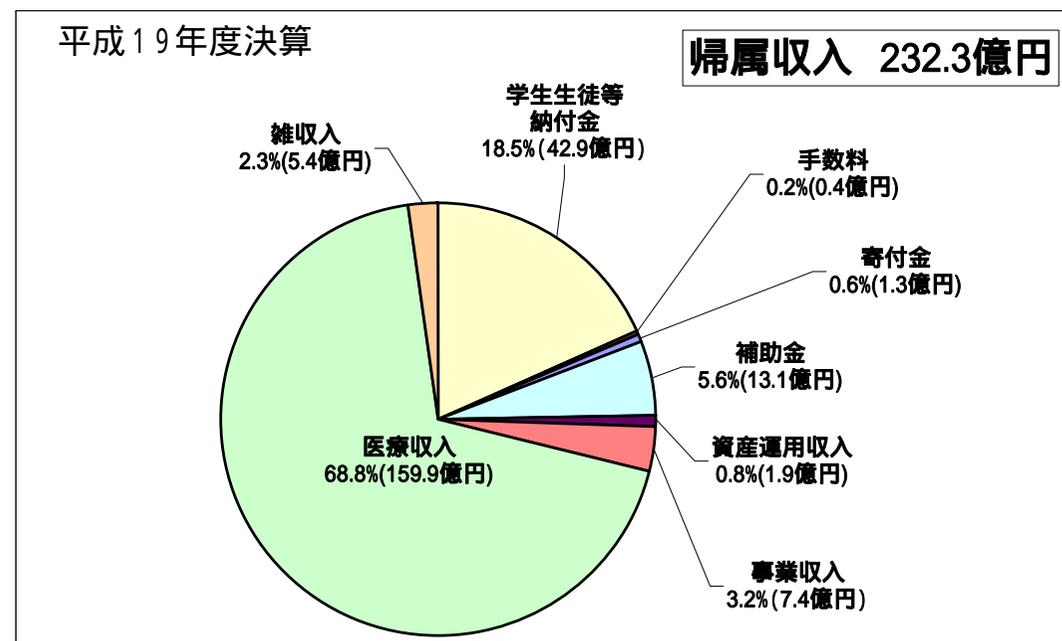
(単位:百万円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額
(消費収入の部)			
1. 学 生 生 徒 等 納 付 金	4,304	4,287	17
2. 手 数 料	41	36	5
3. 寄 付 金	87	133	46
4. 補 助 金	1,298	1,308	10
(国庫補助金収入)	(1,295)	(1,306)	11
(地方公共団体補助金収入)	(3)	(2)	1
5. 資 産 運 用 収 入	163	195	32
6. 事 業 収 入	662	738	76
7. 医 療 収 入	16,040	15,994	46
8. 雑 収 入	422	541	119
帰 属 収 入 合 計	23,017	23,232	215
9. 基 本 金 組 入 額 合 計	620	481	139
消費収入の部合計	22,397	22,751	354
(消費支出の部)			
1. 人 件 費	11,195	11,071	124
2. 教 育 研 究 経 費	9,594	9,144	450
< 教 育 研 究 経 費 >	<4,527>	<4,272>	255
< 医 療 経 費 >	<5,067>	<4,872>	195
3. 管 理 経 費	2,135	2,029	106
4. 借 入 金 等 利 息			0
5. 資 産 処 分 差 額	99	99	0
6. 徴収不能引当金繰入額等	24	23	1
	{98}		
7. [予 備 費]	113	0	113
消費支出の部合計	23,160	22,366	794
当年度消費支出超過額	763	385	1,148
前年度繰越消費支出超過額	23,030	22,645	385
基本金取崩額		9	9
翌年度繰越消費支出超過額	23,793	22,251	1,542
(帰属収入 - 消費支出)	(143)	(866)	1,009

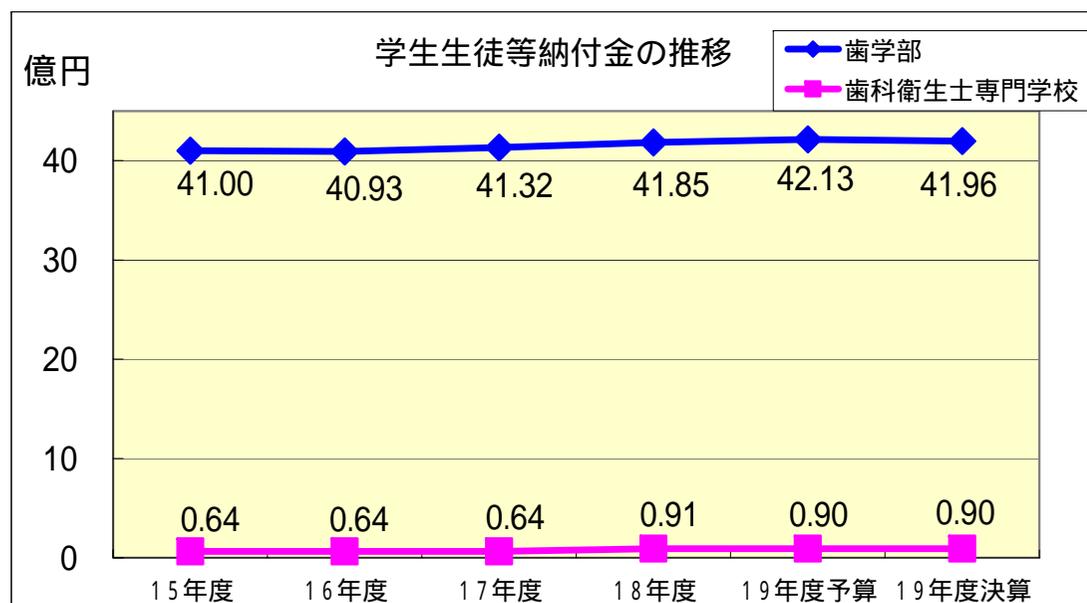
帰属収支差額



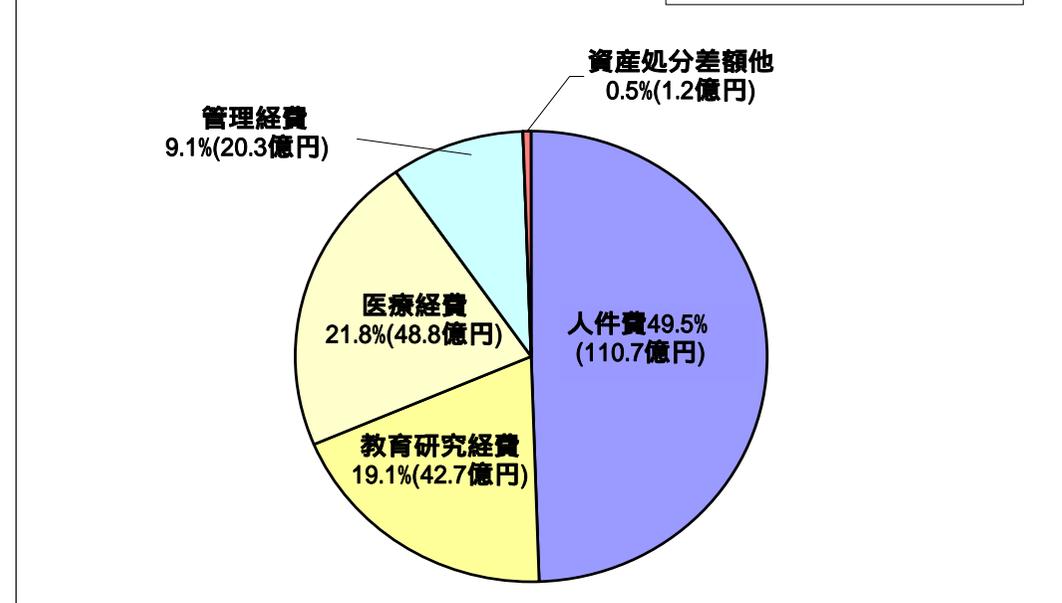
帰属収入・基本金組入額合計・消費支出

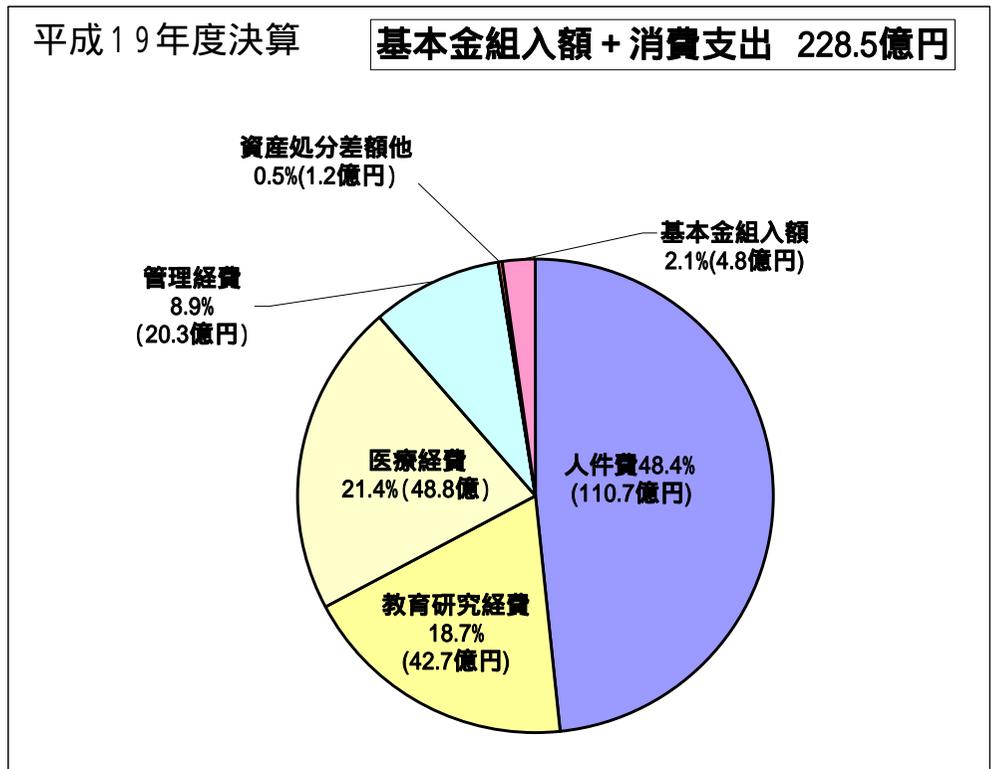


学生生徒等納付金

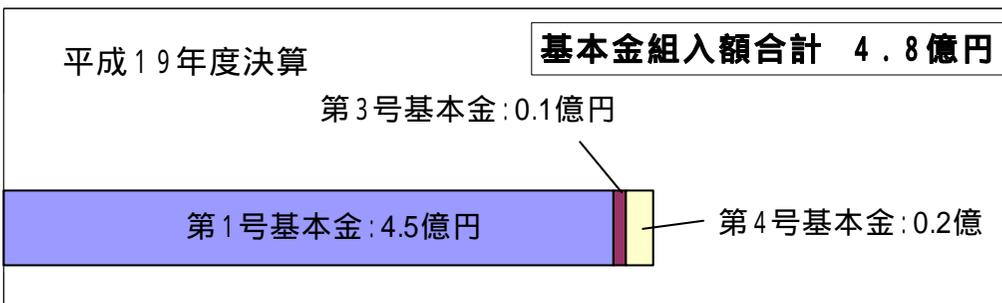
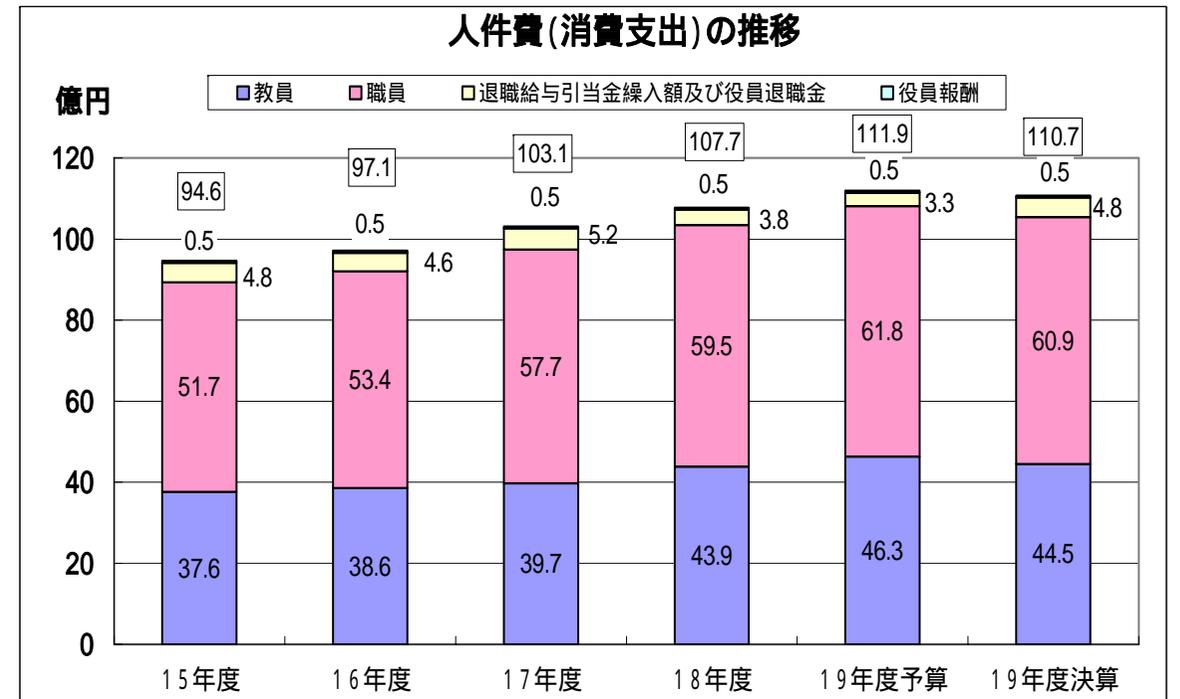


平成19年度決算

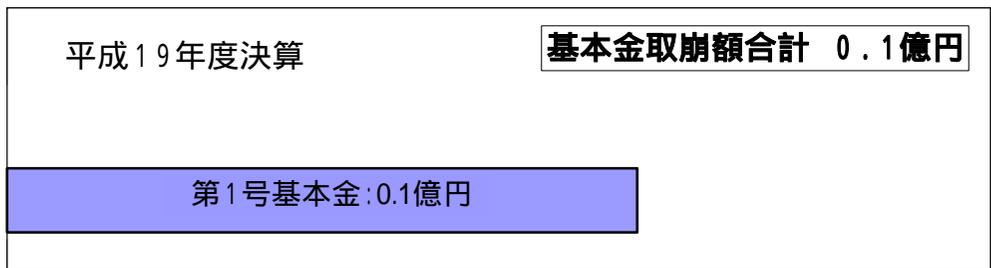
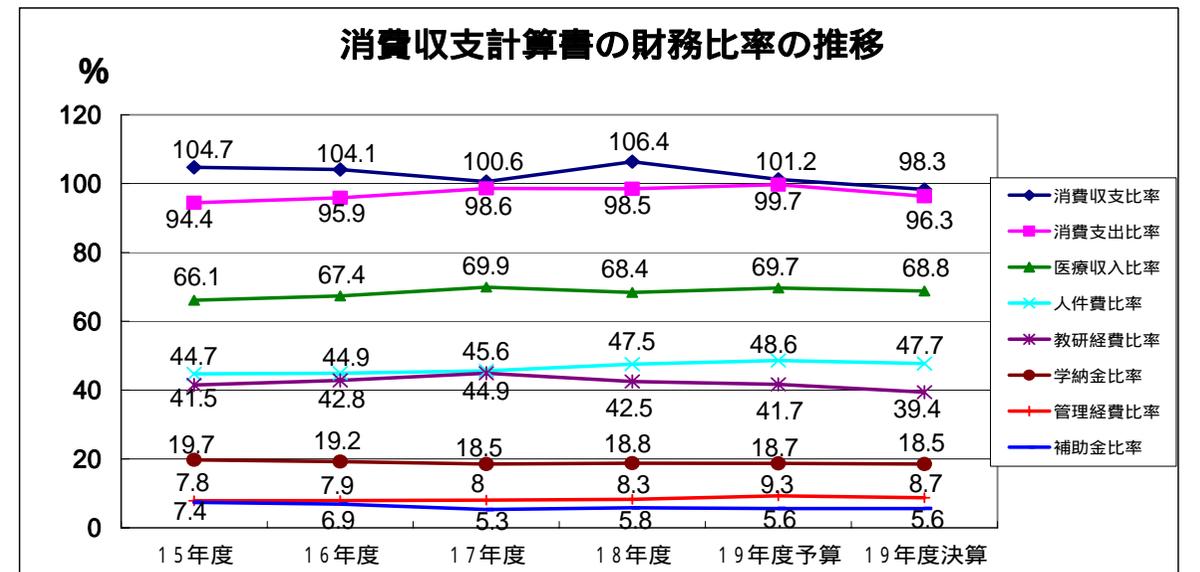




人件費（消費支出）の推移



財務趨勢比率の推移 < 19年度予算の消費収支比率(消費支出/消費収入)及び、消費支出比率(消費支出/帰属収入)は予備費を除いた比率です。 >



資金収支計算書

学校法人会計での資金収支計算書を作成する目的は、第一に当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容を明らかにすること。第二に当該会計年度での支払資金の収入と支出とその顛末を明らかにすることである。当該年度はもとより、前年度以前あるいは次年度以降の諸活動に関する資金も含め、当該会計年度の中で実際に動きのあった全ての支払い資金（現金預金）の収支の動きを明らかにするため調整項目を設けている。

平成19年度において、（収入の部）で、寄付金収入は特別寄付金が増となっている。補助金収入では、私立大学等経常費補助金は一般補助約3,300万円増で、7億6,895万円、特別補助が、やや減で3億1,576万円、合計10億8,471万円となった。事業収入では、収益事業収入が予算より8,000万円増の5億1,000万円あった。雑収入では退職金財団交付金収入が増となっている。

一方、（支出の部）で、人件費は、兼務職員給が増があるが、全体では予算を下回っている。教育研究費・管理経費は各科目で予算内執行となり、医療経費でも薬品費は予算を大きく下回った。借入金等返済支出では、平成19年4月に1億5,000万円を支出し、市川総合病院建設時借入金の返済は全て完了した。施設関係支出では、学校法人で千代田区三崎町2丁目駐車場隣接地の土地取得があり、補正予算2億7,860万円を組んだ。また、大学・千葉病院で屋上防水工事、市川総合病院で手術室空調工事があった。設備関係支出には、市川総合病院で超電導磁気共鳴診断装置・マルチスライスX線CT装置等大型機器を導入更新した。

運用資産のうち減価償却引当特定資産が前年度末より残高を約9億3,000万円増としたほか、その他の特定資産も増となった。

その他の収入・資産運用支出で予算との差が大きいのは、退職給与引当特定資産・減価償却引当特定資産・第3号基本金特定資産の収入・支出を総額表示にしている為である。

平成19年度 資金収支計算書

(単位:百万円)

科 目	予算額	決算額	差 額
(収入の部)			
1. 学生生徒等納付金収入	4,304	4,287	17
2. 手数料収入	41	36	5
3. 寄付金収入	72	94	22
4. 補助金収入	1,298	1,308	10
(国庫補助金収入)	(1,295)	(1,306)	11
(地方公共団体補助金収入)	(3)	(2)	1
5. 資産運用収入	163	195	32
6. 事業収入	662	738	76
7. 医療収入	16,040	15,994	46
8. 雑収入	422	529	107
9. 前受金収入	1,205	1,173	32
10. その他の収入	14,654	11,713	2,941
11. 資金収入調整勘定	3,608	3,799	191
小 計	35,253	32,268	2,985
12. 前年度繰越支払資金	1,019	1,275	256
収入の部合計	36,272	33,543	2,729
(支出の部)			
1. 人件費支出	11,225	11,029	196
2. 教育研究経費支出	7,941	7,579	362
3. 管理経費支出	1,727	1,621	106
4. 借入金等利息支出			0
5. 借入金等返済支出	150	150	0
6. 施設関係支出	492	460	32
7. 設備関係支出	824	815	9
8. 資産運用支出	12,630	9,712	2,918
9. その他の支出	1,195	1,775	580
10. [予 備 費]	219		219
11. 資金支出調整勘定	1,150	1,234	84
小 計	35,253	31,907	3,346
12. 次年度繰越支払資金	1,019	1,636	617
支出の部合計	36,272	33,543	2,729

貸借対照表

貸借対照表

平成 20 年 3 月 31 日現在

資産の部

(単位：億円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	((466.8))	((465.1))	((1.7))
有形固定資産	(331.2)	(339.3)	(8.1)
土地	90.8	88.0	2.8
建物	174.6	182.6	8.0
構築物	13.7	14.9	1.2
教育研究用機器備品	42.2	43.7	1.5
その他の機器備品	2.5	3.5	1.0
図書	6.8	6.5	0.3
車輜	0.0	0.1	0.1
建設仮勘定	0.6	0.0	0.6
その他の固定資産	(135.6)	(125.8)	(9.8)
電話加入権	0.1	0.1	0.0
施設利用権	0.1	0.1	0.0
収益事業元入金	0.5	0.5	0.0
長期貸付金	0.2	0.3	0.1
退職給与引当特定資産	49.7	49.3	0.4
減価償却引当特定資産	58.7	49.4	9.3
第3号基本金引当資産	26.3	26.1	0.2
流動資産	((63.0))	((57.9))	((5.1))
現金預金	16.3	12.8	3.5
未収入金	26.0	23.9	2.1
貯蔵品	1.6	0.9	0.7
短期貸付金	18.3	19.5	1.2
短期前払費用	0.8	0.8	0.0
資産の部合計	529.8	523.0	6.8

負債の部

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	((50.0))	((49.7))	((0.3))
長期未払金	0.3	0.4	0.1
退職給与引当金	49.7	49.3	0.4
流動負債	((25.4))	((27.5))	((2.1))
短期借入金	0.0	1.5	1.5
未払金	11.7	12.1	0.4
前受金	11.7	12.0	0.3
預り金	2.0	1.9	0.1
負債の部合計	75.4	77.2	1.8

基本金の部

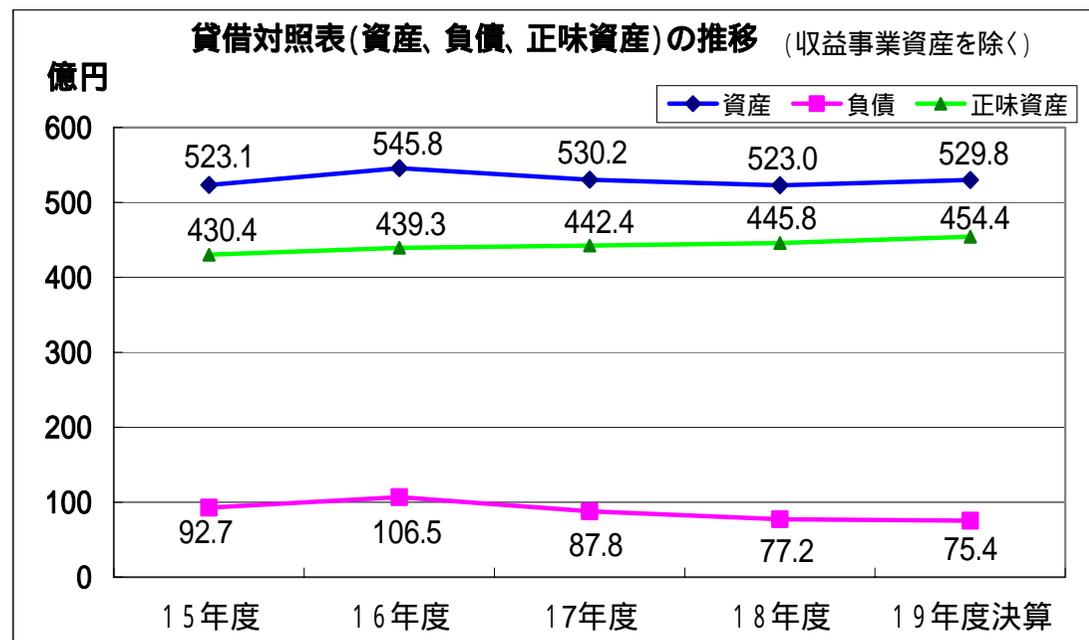
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	634.3	629.9	4.4
第3号基本金	26.3	26.1	0.2
第4号基本金	16.3	16.2	0.1
基本金の部合計	676.9	672.2	4.7

消費収支差額の部

科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	222.5	226.4	3.9
消費収支差額の部合計	222.5	226.4	3.9
負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計	529.8	523.0	6.8

貸借対照表（資産、負債、正味資産）

正味資産 = 資産 - 負債（= 基本金 + 消費収支差額）



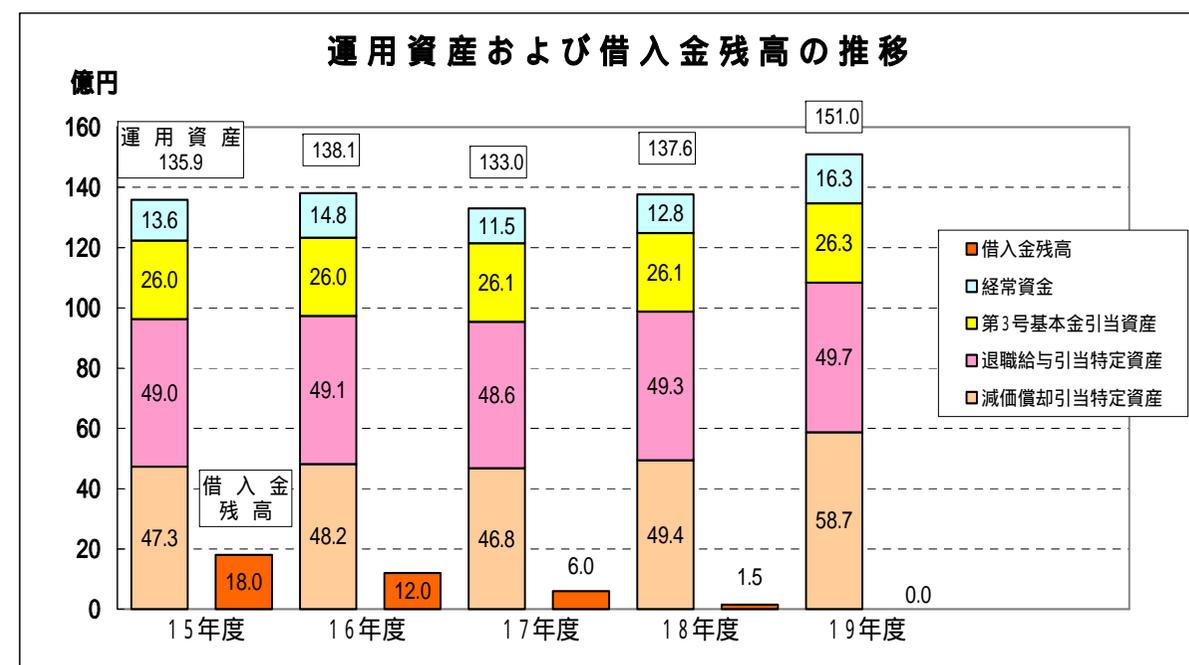
資産は前年度予算と比べると、千代田区三崎町2丁目駐車場隣接地取得や、減価償却引当特定資産の増などによる固定資産の増、現金預金などの流動資産の増などにより6億8,500万円の増となった。

一方、負債は、市川総合病院の借入金返済の終了などにより1億8,100万円減となった。

学校法人の資金調達源泉を分析する正味資産/総資金比率（= 負債 + 基本金 + 消費収支差額）は19年度85.8%となり、前年度より0.6%数値は高くなった。

負債の割合を見る総負債比率（総負債/総資産）は0.6%低い14.2%となった。

運用資産および借入金残高



収益事業会計

営業損益の部

(1) 営業収益

不動産賃貸収入のうち**建物賃貸収入**は、TDCビルの賃料一部値上げなどにより、予算より約5,800万円増の6億7,500万円となった。**土地賃貸収入**は、旧市川総合病院跡地と三崎町2丁目駐車場の賃料値上げにより、1,800万円増の2億2,700万円となった。

(2) 営業費用

一般管理費は、3,100万円となり、予算をわずかに下回った。

租税公課は、固定資産税と消費税でそれぞれ対予算400万円増となり、予算より800万円増の1億5,000万円となった。

減価償却費は、平成19年度の税制改正により、1円の備忘価額を残して全額の償却が可能となった為、TDCビル建物付属設備で予算より1,000万円増となった。

営業外損益の部

(1) 営業外収益

施設設備利用料・受取利息配当金で、合わせて約17万円の収益があった。

雑収入は、平成15・16年度実施の空調設備工事について、修正申告で資産に計上した為、予算より5,000万円増となった。

(2) 営業外費用

雑損失は、平成元年度TDCビル建設時の空調設備工事について、修正申告時に資産から取り除いた為、700万円発生した。

以上により、**経常利益**は、6億2,500万円となり、予算を1億100万円上回った。

学校会計繰入金は、予算より8,000万円多い、5億1,000万円を学校会計へ繰入した。

法人税・事業税は、平成17年度分の修正申告分100万円と、本年度法人税6,400万円および法人事業税2,900万円の合計9,400万円を計上した。

以上の結果、**当期利益**は、2,100万円となり、**前期繰越損失**2億5,800万円を加算すると**当期末処理損失**は、2億3,700万円となり、徐々に累積赤字が縮小となる。

収益事業損益計算 - 予算との比較 -

(単位:百万円)

科 目	平成19年度 予 算	平成19年度 決 算	差 額
1. 営業損益の部			
(1) 営業収益	826	902	76
不動産賃貸収入	826	902	76
(建物賃貸収入)	(617)	(675)	58
(土地賃貸収入)	(209)	(227)	18
(2) 営業費用	302	320	18
一般管理費	33	31	2
租税公課	142	150	8
(固定資産税)	(114)	(118)	4
(事業所税)	(1)	(1)	0
(消費税)	(27)	(31)	4
減価償却費	127	139	12
営業利益(1)-(2)	524	582	58
2. 営業外損益の部			
(1) 営業外収益	0	50	50
雑収入	0	50	50
(2) 営業外費用	0	7	7
雑損失	0	7	7
経常利益	524	625	101
学校会計繰入前当期利益	524	625	101
学校会計繰入金	430	510	80
税引前当期利益	94	115	21
法人税・事業税	84	94	10
当期利益	10	21	11
前期繰越損失	258	258	0
当期末処理損失	248	237	11

収益事業会計（経常利益・学校会計繰入金等）

